

## 事業名 鹿沼市出会の森総合公園 整備事業

“人と人、人と自然の出会いの場”の創造をテーマに自然と遊び、人と交わり、地域とその文化を育てるための“出会の森総合公園”の完成により、地域活性化による地域住民と公園来場者からの高い評価を受けている事業

受賞機関 鹿沼市都市建設部公園緑地課  
事業実施期間 平成8年4月1日～平成11年3月31日  
事業費 1,800百万円

### 事業等の特徴

スポーツ・レクリエーション施設等を親水空間に整備した「出会の森整備計画」に基づく事業であり、福祉と健康づくりの場、あるいは自然と共生する場として公園が整備されている。NPO法人化をめざしている地域住民からなる管理組合が管理運営を実施し、体験農園等の運営を行っている。

### 事業の概要と利用者等の評価

出会の森整備計画は「アウトドアレクリエーションの拠点」、「福祉と健康づくり」、「自然と共生する風景」、「周辺地域との連携」以上4点の形成を基本方針に設定し、その整備内容により「活動の森」と「やすらぎの森」にゾーニングを行った。

活動の森のメインとなる出会の森総合公園は、スポーツ広場は面積約14haを整備し、多目的グラウンド、ゲートボール場2面を備えたものである。メイン施設のオートキャンプ場はオートサイト50区画、フリーテントサイト20区画、管理棟を備えた約6.1ha整備した。場内施設は利用者の利便性を図るとともに、オートキャンプサイトのうち3サイトはバリアフリー化を図り身障者にも利用できるものになっている。その他関連施設としてやすらぎの森ゾーンに温泉施設の高齢者福祉センター、高水敷を活用した親水公園等が整備され、出会の森総合公園と一体に利用されている。

本公園は通常の公園機能のほかに、自然環境保全や、観光資源の活用、また、地域住民の積極的な参加による西北部活性化を図る拠点として重要な役割を持った公園として整備を進めてきた。その目的を達成するために管理運営を地元主体とし、管理組合



キャンプ場周辺

設立準備委員会を経て「出会の森管理組合」を設立した。その業務内容は単なる公園の維持管理だけでなく、周辺の環境



入口ゲート

整備推進事業なども行うことを目的にNPO法人の認証を受け、地域活動の核となる団体となっている。

来場者数は12年度の約5,000人から13年度約16,000人と増加、リピーターも増えている。利用者が増えた要因としては、各種報道、PR活動や口コミによる周知度がアップしたことによるものと思われる。

アンケートによる利用者の評価として、料金については「安い・適当」が92%、再利用については「利用したい」が94%と高い結果となっている。良い点として、「サイトが広い」、「設備が良い」、「近くに温泉がある」、「芝生がきれい」等が挙げられ、好評である。なお来場者の67%は県外からの利用であり、「キャンプ場までのアクセスが良い」との評価も70%となっている。

### 審査委員会委員の意見等

- ・地域住民によりNPO法人化をめざすなど管理運営費のコスト削減に努力している。
- ・一般的な例として終わらないようNPOを目指しているからこそその独自のソフトを期待したい。
- ・利用者数の急増に現れているように利用者による評価が高い事例である。HPによる情報提供による県外客やリピーターの増加など、面白い試みがなされていて興味深い。この施設だけでなく広域観光・流動の中でどのように利用されているか等についての調査も必要であると思う。